

**答** 三条市農業再生協議会の中で議論する。

**東光寺駅の安全対策を**

**問** 東光寺駅周辺は夜間の危険性が高い。駐車場の拡幅や駅前開発を進め、人のにぎわいをつくるにはどうか。

**答** 現時点では駐車場拡幅、駅前開発は予定していない。安全巡視を増やす方が実効性あるものと考えられる。



夜は危険な田んぼの中の東光寺駅

**市道の整備補修を**

**問** 市道に穴やひび割れが目立つ。けがや命の危険があり早急に補修を進めるべき。住宅前の市道でまだ砂利道があるが急いで舗装すべきでは。

**答** 巡回パトロールなど安全確保に努めているが対策にしっかりと取り組むたい。舗装新設は来年度から運用する道路整備優先評価基準の中で順次対応してきたい。

**県央地域、栄地域の開発に伴う道路整備等について**

**問** 県央基幹病院に隣接する都市計画道路3・3・5下須頃上須頃線の事業主体やスケジュールはどうか。

**答** 事業主体や道路構造については、現在関係機関と協議中で県央基幹病院の開院までに整備されるよう取り組む。

**問** 国道289号バイパスや(仮称)石上大橋下流橋の現況はどうか。

**答** 一日も早く事業化されるよう国、

県に対して期成同盟会等を通じて要望活動を展開していく。

**問** 国道403号三条北バイパスの現在の進捗状況と今後の対応はどうか。

**答** 平成28年度に詳細設計が完了している。29年度からは、井栗から須戸新田までの遺跡調査および暫定盛土にて軟弱地盤対策を行う。

**問** 工業流通団地の進捗状況はどうか。

**答** 9月中の農振除外に係る県知事同意を目指して協議中であり、用地買収については農振除外の見通しが付き次第、地権者の皆様への説明会を行う。

**市町村と県の役割分担を明確に!**

**問** 役割分担に関する知事と市町村長の協議は進んでいるのか。

**答** 4月の意見交換会は、役割分担の認識を持った中で議論が進められた。港湾と空港の機能強化

は県が責任を持つべきで、これがないがしろにして市町村に片足を踏み込み続けた前県政はいかがなものかといった意見が多

くの市町村長から出された。広域観光や産業振興も県が後押しすべきといった議論が続いた。意見交換会が定期的開催されれば、効率の良い役割分担が構築されると考えている。

**須頃郷開発に前向き姿勢を示すべき**

**問** 県央基幹病院、実学系ものづくり大学、医療系高等教育機関の開設を起爆剤として須頃郷への民間投資が進むようにアピールすべきだ。新幹線の高架下利用や屋根付き歩道の整備などを進めてはどうか。

**答** 県央基幹病院などを須頃郷の広域的な機能を高めるための誘引剤とすべく生かさなければいけないというのは指摘の通り。歩行者の安全と利便性に配慮した空間整備を検討していきたい。

**「公職選挙法違反を問われた市長ブログ」について**

**問** 「新潟地検」申し渡し内容(不起訴)の現状認識はどうか。

**答** 不起訴処分は不起訴処分。現状認識はどうか。

**三条市の『財政状況』について**

**問** 三条は持続可能な「財政状況」にあるのか。

**答** 将来想定される財政負担に備えて財政調整基金の残高に最も注視しなければならないと考えている。今年3月末時点での残高は75億円という状況。

**問** 「情報公開請求」を拒否(非公開)とする理由はなぜか。

**答** 関係する事務事業に支障を及ぼす可能性があり公開していない。

**問** 総務省公表の「財政状況資料集」からの現状認識はどうか。

**答** 他市との平均値の比較では、23年度から27年度までの状況として数値が悪化した。

**水道の安定供給について**

**問** 企業団原水の高濁度はどうか。

**答** 平成23年水害以降2年間は大きかったがその後は落ち着いている。

**問** 買い物難民対策について

**答** 発生防止策も必要ではないか。個人商店を含む中小企業者への支援として、融資制度や利子補助を行っている。支援策について今後も研究を進めたい。

**問** スクールバスの安全確保について

**答** 補助席の使用は危険でないか。乗車指導による安全確保に努め、



下田地区を走るスクールバス

できる限り補助席を使用しないよう見直しを図る。

**道路整備の優先順位評価基準について**

**問** 周辺地域の切り捨てではないか。

**答** 栄・下田地域に著しい変動が生じないよう配慮する。

**問** 入札制度について

**答** 変更後10年経過、建設・コンサルト業界への影響はどうか。

**大谷ダムふれあい資料館について**

**問** なぜ管理をやめたのか。

**答** もともと県の施設、先人たちの思いは今後もしっかりと受け止め、引き継いでいく。



大谷ダムふれあい資料館